

第 42 回定期演奏会 反省会議事録

日時：2026 年 2 月 7 日（土）18 時～19 時 30 分

場所：名古屋市医師会館 6 階講堂

出席者：43 名

（以下敬称略）

議事

1. 運営委員長挨拶（榊原敏）

- ・定期演奏会が無事に終わって良かった。
- ・入場者数は 844 名と少なかったが、今回はコンチェルトが無かったのでこんなものと思う。

2. 技術委員長総括発言（橋本伸）

<プログラムについて>

- ・古谷先生からも交響曲 2 曲は内容的に盛り沢山で仕上げるのに苦労したという意見もいただいた。
- ・最後までアンサンブルの乱れも残り消化不良だった点もあり、次回以降の選曲の際にオケの力量ももう少し勘案して選曲していきたい。

<練習計画の組み方、スケジュール管理について>

- ・練習日の設定、練習曲目等の案内が遅く、団員のスケジュール調整が難しく欠席等の原因にもなったため、前倒しで練習計画を固めて行けるよう、委員会内の役割分担の見直しを考えたい。
- ・練習時期の早いうちに指揮者の tutti を実施し、指揮者の意図を把握して練習を進めることについては次回以降も行っていきたい。

<練習内容について>

- ・全体練習よりもパート、セクションレベルでの練習を増やす必要があるかも知れない。パート練習セクション分奏で基礎的な合奏技術を磨き、全体練習では音楽的な表現に集中できるようにしていきたい。
- ・練習場所の確保については場所取りの手配や予算等の調整も必要であり、財務委員、企画委員とも連携して計画を考えたい。

<団員確保について>

- ・管楽器のメンバーの増員の必要があるのでは？
- ・乗り番の確保の問題から入団希望があっても増員を断るパートもあるが、乗り番の負担を減らしてでも完成度を高めて欲しいパートもある。
- ・全体的にメンバーが高齢化しており、より積極的に世代交代を考えていく必要もある。新しい団員が活躍の場を貰えるような雰囲気を作っていく必要があるのではないかな。
- ・HP に入団希望の入力フォームは用意されているが、この 1 年で申込は無い。HP も更新が殆どなくそこから問い合わせ、申し込みをする気にならないのではないかな？という意見もある。
- ・現在だと団員の伝手での入団が殆どであり、広報を活性化していく必要もあるのでは。

3. 企画委員長総括発言（佐藤）

- ・今回の定演も大きな事故もなく無事終わることができました。色々な業務をお手伝いしてくれた皆様のお陰です。
- ・まず良かったことは、前回はご自宅が火事のためお一人出演できませんでしたが、今回は出演予定の全員がステージに乗れたことです。
- ・冒頭の贈呈式で私がドタバタしてチューニングを待たせてしまい申し訳ありませんでした。今後はこういうことが無いように対策を取りたいと思います。

- ・マエストロのお世話係を立松さんが長年担当してくれていましたが、体調が優れないということで後任として篠田さんに引き継いでもらうことになりました。立松さんありがとうございました。

<入場者数について>

- ・今回の入場者数は **844 名** でした。当日券 28 枚、プレイガイド 88 枚は良く売れたと思います。
- ・芸文での入場者数の減少傾向は残念です。できれば 1,000 人以上来て欲しい。
前回 1,270 名、第 40 回 449 名（しらかわ）、第 39 回 814 名、第 38 回 1,145 名、以前は 1,200 名以上
歩留まり：団員 527 名来場/1,414 枚販売＝約 37% 県医師会 169 名/510 枚＝約 33%

今後対策が必要

- ・他の演奏会でのチラシ挟み込みによる周知徹底
- ・実際に会場に足を運んでくださる方にチケットを販売する
- ・チケットが自分でどうしてもさばけない人は足りない人に預ける等

<前回の反省会でいただいた宿題について>

- ・反省会の日程を早めに周知する → 少し早めに団員の皆様に告知した
- ・本番の託児再開 → 4 名利用していただいた

<お願い>

- ・休憩後と思われますが、団員の方でステージパスを見せずにホール入口から入ろうとする方が何名か居られたようですが、スタッフはお客様と区別がつかないので、必ずステージパスを携帯して見せて入ってください。
- ・定演当日利用時間終了の 12 時頃になっても中リハ室に荷物を置きっぱなしの方が見えて困りました。これは私の説明が不十分でしたが、今後皆さんも気をつけてください。
- ・出演者への贈り物を持参される方が以前より数は減りましたが、今回も約 30 名の方にお断りをしました。チケットを販売あるいは差し上げる際は改めてお断りを徹底するようお願いします。
- ・客席あるいはステージで贈り物を受け取られる方を見かけましたが、これも困ります。やむをえず受け取られる場合はホール入口のホワイエにて受け取ってください。
- ・技術委員長から指摘のあった HP については内容の改善を検討する。
- ・今回来場者アンケート結果をプログラムに掲載して良かったと思う。

4. 来場者アンケート結果発表（安藤誠）

※別紙「第 42 回定期演奏会 来場者アンケート結果概要」をご参照ください

5. 意見交換

- ・チケットについて天白区医師会では抽選しているが殆ど当たらない。医師会への配分を増やすか足りないところに回してもらうようにしていただきたい（団員）
- ・医師会によっては余っているところもある。余りは返してもらって再配分を検討してもらう。団員についても同様に一旦オケに戻してもらって再配布を検討する（榊原敏）
- ・贈り物は無料チケットへのお返しの人も多いのでは、チケットに記載した方が良いのでは（団員）
- ・入場者数 844 名は大ショック、コロナ前は 1,300 名くらいだった。定演の前に余りを回収して再配布して来場者を増やすことを考える。贈り物の代わりにチャリティ先に募金して欲しい（団員）
- ・弦に対する要望はコンマスではなくまずパートリーダーに言って欲しい。コンマスはオケ全体のことを考えなければならない（団員）
- ・何でもコンマスにぶつけないでパートリーダーに言ってください。特に誹謗・中傷はいけない。コンマスは傷ついている。今後は弾ける人が弾けない人をフォローするようにしたい（団員）
- ・弦は指揮棒に合わせてもパート内でズレることがある（団員）
- ・Vn はパート練習やっているが個人差が大きい。本番会場は普段と響きが違ってくるが、指揮者やコンマスに合わせて欲しい。（団員）

- ・しっかり役割分担してコンマスは音楽に集中できるようにしていく。運営に関する苦情は運営委員へ今後多くの方が何かの役につき役割分担する。運営面では大型楽器の管理に多額の費用が発生しており、今後団費を値上げしないといけないかもしれない（榊原敏）
 - ・弦に対してのアドバイスは発言のタイミングを考えてパートリーダーに伝えて欲しい（団員）
 - ・管の人はブラスバンドで叩かれてきているが、弦の人は慣れていないので、問題があればパートリーダーに伝えて欲しい（団員）
 - ・コンバスは指揮者から色々と指摘されたが、今後はチェロとコンバスと一緒に改革していく（団員）
 - ・コロナ前はトップ合わせをしていた。今後再開したい（団員）
 - ・練習計画はもう少し早めをお願いします（団員）
 - ・刈谷では音出しの部屋が無かったので、今後は音出しの部屋を確保して欲しい（団員）
 - ・Vnの入団希望者が入団申込フォームで何度かやったが返事がなかった（団員）
 - ・申込があれば直ぐに分かるようになっているが届いてない（橋本伸）
 - ・練習の終了時間が遅い。21時には終わって欲しい。会場やトレーナーの先生の都合もあるが、早く始めて早く終わって欲しい（団員）
 - ・できればそうしたいが会場の都合でなかなか早く始められない。今後は日曜日の練習も検討する（佐藤）
 - ・曲を詰めないで楽章を限定する方法もあるのでは（団員）
 - ・医師会でのチケットの扱いについては人数で決まっているが、医師会の事務局に早めに相談してはどうか。コンバスは今後全体練習の前にパート練習をやりたい。酒井先生の指導も願います。（宇野）
 - ・コンバスパートにプロを入れられないか？（団員）
 - ・発言は年取った人ばかりで昨年来ていた若い人が今日来ていない。若い人にも話してもらえるような工夫をしていただきたい（団員）
- ・第九の話ですが、今回はコンサートホールで合唱団はステージ上に乗るので、オケのスペースが限られ特に弦楽器は人数制限があります。ステマネと相談の結果最大で 1st14－2nd12－Va10－Vc9－Cb7 です。管については問題ないと思います。（佐藤）

閉会

※補足説明

技術委員長総括発言の「プログラム」は「演目（構成）」の意味で、以降の文中やアンケート結果概要での「プログラム」は来場者に配布した「冊子」のことを表しています。

文責：佐藤、（榊原典）